

J-クレジット購入証明書を贈呈しました



7月31日（金）役場庁舎でJ-クレジット購入認定書の贈呈式が行われました。和寒町では、新エネルギー政策として役場庁舎・図書館・保健福祉センターの暖房に木質チップを使用したバイオマスボイラーを使用しており、平成28年11月から令和元年11月までの3年間の化石燃料を使用した際と比較した和寒町の二酸化炭素削減量が494トンとなり、今年2月にJ-クレジット認証を受けました。この内の42トン分を資源リサイクル業の榊鈴木商会（駒谷僚代表取締役社長 札幌市）が購入し、奥山町長から第1号の認定書が手渡されました。

J-クレジット制度とは

国が認証するJ-クレジット制度とは、省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、CO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

本制度は、国内クレジット制度とオフセット・クレジット（J-V E R）制度が発展的に統合した制度で、国により運営されています。創出されたクレジットは、低炭素社会実行計画の目標達成やカーボン・オフセットなど、様々な用途に活用できます。



役場庁舎裏にある
木質バイオマスボイラー

和寒東山スキー場ヒルクライムレースの開催について

このたび、東山ヒルクライムレースの開催にあたり、住民の方から以下のとおりご意見とご要望をいただきましたので、次のとおり回答させていただきます。

【ご意見、ご要望の趣旨】

新型コロナウイルスが流行し様々な行事が中止されている中で、町外から人がたくさん集まるクライムヒルレースを開催することは、町民が感染する心配もあり疑問を感じます。

開催に当たっての考え方を広報でお知らせください。

【実行委員会の考え方について】

ご指摘をいただいたとおり、本年の2月以降、新型コロナウイルス感染防止対策として、町内各種行事の中止が決まっている状況にあります。

しかしながら、新型コロナウイルスとの闘いが長期化している中で、国が示した「新しい生活様式」を受けて、北海道が事業継続やビジネスチャンス拡大につなげていく「新北海道スタイル」を推奨していることから、実行委員会としては、感染リスクの低い屋外でのスポーツを「新北海道スタイル」で取り組むこととしたものです。

なお、開催当日の感染防止対策としては、参加者に対して、会場入り口での検温・入場制限、マスクの着用とこまめな手指消毒の励行などをお願いする考えです。

また、参加者が居住する地域での緊急事態宣言または自粛要請が出ている場合などは、当日の参加を見合わせていただくこととしています。

さらに、今後、国や道からの緊急事態宣言などが発令された場合はレースを中止することとしており、これらの留意事項は、大会ホームページでお知らせしているところです。

実行委員会としては、このたびいただいたご意見も踏まえ、より一層の感染防止対策に努めてまいりますので、ご理解をいただきたいと存じます。



新北海道スタイル